集合をスカラーという.

函手 $(F: \mathbb{C} \to \mathbb{S}et)$ をベクトルと呼び、 $F_{\mathbb{C}}$ と表す.

函手 $(G: \mathbb{D}^{op} \to \mathbb{S}elt)$ をコベクトルと呼び、 $G^{\mathbb{D}}$ と表す.

双函手 $(H: \mathbb{D}^{op} \times \mathbb{C} \to \mathbb{S}el)$ を行列と呼び、 $H^{\mathbb{D}}_{\mathbb{C}}$ と表す.

 $F_{\mathbb{C}}$ に $c \in \mathbb{C}$ を代入したものは集合となり、 $F_{(c)}$ と表す.

 $G^{\mathbb{D}}$ に $d \in \mathbb{D}$ を代入したものは集合となり, $G^{(d)}$ と表す.

 $H_{\mathbb{C}}^{\mathbb{D}}$ に $c\in\mathbb{C}$ を代入したものはコベクトルとなり, $H_{(c)}^{\mathbb{D}}$ と表す.

 $H_{\mathbb{C}}^{\mathbb{D}}$ に $d \in \mathbb{D}$ を代入したものはベクトルとなり、 $H_{\mathbb{C}}^{(d)}$ と表す.

ある集合 S を \hat{S} : 1 \to Selt として考え, $\hat{S}(*)=S$ とすると $\hat{S}=\hat{S}_1=\hat{S}^1$ であり, $S=\hat{S}_{(*)}=\hat{S}^{(*)}$ と表すことができる,

行列 $P_{\mathbb{X}}^{\mathbb{X}}$ のエンドを $\int P_{\mathbb{X}}^{\mathbb{X}} d\mathbb{X}$ と表す.

行列 $P_{\mathbb{X}}^{\mathbb{X}}$ のコエンドを $\int P_{\mathbb{X}}^{\mathbb{X}^{d\mathbb{X}}}$ と表す.

米田埋め込み $\operatorname{Hom}(A,B)$ を $\Delta_{(B)}^{(A)}$ と表す.

添え字がついた文字をテンソルという. つまりスカラー, ベクトルやコベクトル, 行列はテンソルである.